

協会主催の花菖蒲展示会と審査基準（案）について

展示会実行委員 稲垣敏明

本会が主催する花菖蒲室内展示会は、一般大衆への鉢植え花菖蒲の紹介と普及、及び絶滅の恐れのある鉢植え用品種の可能な限りの保存を目的として開催しています。東京・神奈川・千葉在住の役員が中心となり、協会推奨の12cm ポリ鉢栽培法にて管理された開花株約300鉢を会場に持ち込み、6日間の会期で開催しております。この展示会場でも金屏風に緋毛氈を敷いた熊本式室内展示が注目を集めていますが、江戸系品種の為の展示方法も確立しましたので、ご紹介させていただきます。

《波状ラインによる展示》

大船植物園での展示会場入口を入りますと、右側壁面に沿って幅70cm、長さ数mの波形に蛇行した黒色敷棚が目飛び込んで参ります。これは小林昇会員の労作で、発砲スチロールを素材とした約1mの黒色に着色された敷棚が連結されたものです。この波形の中心線に沿って12cmの穴が一定間隔に開けられています。各穴は一個一個のポリ鉢がきちんと収まるようになっており、ポット直下には受け皿が敷棚表面から見えないように仕込まれています。この波状ラインの手前側に丈の低い花を後側には丈の高い花を配置して、全ての花位置が緩やかなカーブを繰り返して描くようになっていきます。この立体的なデザインにより花菖蒲と水流とが織り成すイメージを想起させると共に、江戸系品種の欠点である草丈のバラツキをむしろ逆手に取った形で、全体の調和を図っている訳です。また、これは江戸系品種の花色の豊かさを生かし、且つ花型の整わない種間雑種の黄色の色彩を取り込み、色彩的にも全体を見事に融和させることを可能ならしめています。現代人の色彩感覚と伝統な形との調和を図った優れものと言えるでしょう。尚、大船植物園での室内展示の残る課題の一つは、伊勢系品種の

特性を生かした展示方法の試行です。この点については松阪で行われた雛段飾りがヒントになりそうなので、一度、試して見たいと考えています。

《鉢植え審査》

こうした展示方法、つまり舞台装置が確立されて来ると、次の段階として出品鉢花の質の向上、つまり一鉢一鉢について、美術品としての手入れや評価が重要になって来ます。その根底には、「美しい花菖蒲の花を独りだけで見るのは実にもったいない話だ。是非、皆さんにお見せして、この美しい花を見た時の感動を他人にも伝えたい。」との私たち愛好家共通の心情があるのだと思います。そして、その感動が連鎖して行けば何と素晴らしいことではないでしょうか。ここで、このような意図にそった鉢植え審査についての具体案を紹介したいと思います。

なお、波状ラインによる展示の審査基準については、審査基準は設けません。元より江戸系には、六英・富士山型を主とする肥後系や三英・垂咲を主とする伊勢系に見られるような定型・理想型というものが存在しません。江戸系花菖蒲というものは、江戸に流入した種々雑多な系統の集合体であるため、美の評価としての審査基準を設定することが甚だ困難であるからです。五三の宝や龍の爪等の奇種部門や花卉の開張具合による区別（垂咲・平咲・受咲・蓮華咲・玉咲・爪咲）等により、多くのジャンルに分ける必要があるのかもしれませんが、しかしながら、当面は片苦しい基準等は設けずに来場者の声に耳を傾けるのがよいのではないのでしょうか。彼らに選ばれた品種を並べて見ると、何となく一定の傾向や水準が示され、それが現代という時代の気分（文化）を反映していることになるのではないのでしょうか。

展示会での審査基準（案）

《熊本式展示》

- A：展示場所との調和**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **30点**
展示期間中、ベテラン栽培家により肥後系として選定されて熊本式展示（金屏風陳列）に用いられた鉢植え一つに対して30点を与え、次いでこの選定品に対して以下の点数を加算する。
- B：弁形**・・ **15点**
扇形（15点）、丸形（10点）、卵形（5点）、その他（0点）
- C：芯・薬片**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
大立芯・大崩芯（15点）、立芯・崩芯（10点）、普通芯（5点）、小芯・寝芯・振芯（0点）
- D：花茎長**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
敷板なし（15点）、敷板1枚（10点）、敷板2枚（5点）
- E：葉性**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
葉折・病斑なし（15点）、少々あり（10点）、沢山あり（0点）
- F：鉢土**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **10点**
清潔（10点）、やや汚れ（5点）、不潔（0点）

《松阪式展示》

- A：展示場所・展示鉢との調和**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **30点**
展示期間中、ベテラン栽培家により伊勢系として選定されて特設の雛段に並べられた鉢植え一つに対して30点を与え、次いでこの選定品に対して以下の点数を加算する。
- B：弁形**・・ **15点**
扇形（15点）、丸形（10点）、卵形（5点）、その他（0点）
- C：下垂性と弁質**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
垂弁・縮緬有り（15点）、垂弁・縮緬無し（10点）、やや垂弁（5点）、平咲・受咲（0点）
- D：芯・薬片**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
蜘蛛手・棘歯多し（15点）、蜘蛛手・棘歯少し（10点）、蜘蛛手と棘歯なし（5点）、小芯・寝芯・振芯（0点）
- E：葉性**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **15点**
葉折・病斑なし（15点）、少々あり（10点）、沢山あり（0点）
- F：鉢土**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **10点**
清潔（10点）、やや汚れ（5点）、不潔（0点）